

## 平成29年度中津市総合教育会議議事録

日 時：平成30年3月30日（金）13：00から

場 所：市役所5階第1・2委員会室

出席者：（市長部局） 奥塚市長

（教育委員会）島田委員、新居委員、足利委員、廣畑教育長

事務局：泉総務部長、黒永総務課長、篠田総務係主幹

栗田教育次長、大江教育総務課長、高畑教育総務係主幹

高尾社会教育課長、今富体育・給食課長

### ○黒永課長

総務課長の黒永でございます。ただ今から、平成29年度総合教育会議を始めます。初めに、奥塚市長よりごあいさつを申し上げます。市長よろしく申し上げます。

### ○奥塚市長

皆さん、こんにちは。年度末の大変お忙しいところ委員さんにおかれましてはご出席いただき大変有難うございます。また、平素より市政の運営にご理解・ご協力賜っております。重ねてお礼申し上げます。

この総合教育会議は、法で定められて、首長と教育委員会委員が協議・調整する制度になっていますが、それは、お互いが持っている情報を共有して、進むべき方向性を皆様方と共有して執行にあたるのが大切であるということがこの制度の意義であると改めて感じております。

特に、就任してから「なかつ安心・元気・未来プラン 2017」を策定して「暮らし満足 No.1」を目指そうということを申し上げます。また、その中で特に、行政だけではできないから、いろいろな機関と連携し結集して課題にあたっていこうと申し上げます。

今回はテーマをこのプランに定められている政策のうち、3つほど選ばせていただき、協議してご意見を賜りたいと思っております。

今年は、国民文化祭・障害者芸術文化祭が大分県で行われる年でありますので、その観点からの話が1つ目、そして2つ目は、「学びたい教育のまちづくり」についての話が一つ、そして3つ目は、スポーツ施設の活用について議論をお願いしたいと思います。

本日の会議が有意義なものであるよう心より祈念いたしまして私からの挨拶とさせていただきます。

### ○黒永課長

ありがとうございました。それでは、次第3の協議・調整事項に移ります。ここからは中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、市長が議長とし

て進めさせていただきます。市長よろしくお願ひいたします。

○奥塚市長

それでは、中津市総合教育会議運営要綱第3条の規定に基づき、議事を進めさせていただきます。

本日は協議・調整事項といたしまして、1番目は「なかつ安心・元気・未来プラン2017の推進」となっており、3点議題がありますが、まず事務局から一括して説明をお願いします。

○大江教育総務課長

教育総務課です。それでは、協議事項につきましてご説明を申し上げます。

本日協議をお願いしたい事項は、先程市長から説明がありましたが、昨年度末に策定された市政運営の基軸となる第五次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン2017」の推進につきまして、このプランに掲げられています教育委員会に関係する部分の文化・スポーツの振興、そして学びたい教育のまちづくりの中から特に議論をお願いしたい6項目を本日の会議のテーマとさせていただきます。

横刷りの資料がありますが、その資料に基づきまして各担当課長から説明をさせていただきます。

○高尾社会教育課長

社会教育課です。まず、初めに文化・芸術活動の推進及び歴史と文化伝承についての一つ目「国民文化祭・障害者芸術文化祭の取り組み」について説明させていただきます。

今年の10月から11月にかけて開催されます第33回国民文化祭おおいだ2018、第18回障害者芸術文化祭おおいだ大会が県内で開催されます。今回は、大会テーマを「大分大茶会」としまして、子どもからお年寄まで、また障がいのある方、ない方も誰もが参加して楽しむことができる文化祭を目指しております。

今回は県内を5つのエリアに分けて、各市町村が各エリア別のテーマに合わせた各種文化事業を行います。

中津市は、日田市、玖珠町、九重町と同じ「水の森」というテーマの基、事業を行います。

中津市では全部で4事業を予定しています。まず、初めに核となるリーディング事業「なかつ水灯り2018」ですが、これは夕方から夜にかけて中心市街地及び旧下毛地域を会場に水の森のテーマに合わせたライトアップなどの光の作品を展示するものです。また、日中は、美術館や図書館等を会場に、美術展などのアートプロジェクトを開催することとしています。また、今回は、国民文化祭と障害者芸術文化祭の同時開催となっていますので、アートプロジェクトの中

で障がい者の作品展を開催することとしております。

この他にも分野別事業として、九州人形芝居フェスティバル、小倉百人一首競技かるた全国大会、ミュージカル「山国川奇譚 鶴市愛歌」を開催することとしています。

この文化祭については、市内外を問わず全国から多くの方に見ていただき、文化祭だけではなく、中津のお祭りや食・観光などと併せて満喫していただきたいと思っています。

その為の広報計画として、昨年度より実施しています各種イベント時におけるティッシュの配布や関連イベントのホームページでのお知らせ、チラシやポスターの掲示を行ってきたところですが、まだ、十分行き届いていない面もあるかと思われま。す。今後は、県と連携・協力しながら、各種団体や実行委員会の皆さんにもご協力いただいて、市のイベントだけでなく民間のイベントの際にもお知らせをするなど、あらゆる媒体を利用しながら広報活動に努めていきたいと考えております。

続きまして、新歴史博物館の活用につきまして、ご説明いたします。

新歴史博物館は、平成 29 年 1 月に着工し、現在、順調に工事が進んでいます。

また、展示についても、現在準備を進めているところです。建設工事は平成 30 年度中には終わる見込みで、会館準備を経て平成 31 年秋に会館を予定しております。1 階は展示室で、2 階及び 3 階は主に収蔵庫となっています。

この博物館のコンセプトですが、従来の中津の歴史を学べる史料館だけではなく、子どもから高齢者まで多くの市民の方々が運営に参加して、活躍できる場とするとともに、他の近隣施設と協力して、観光の拠点としても活用する計画です。

続きまして、現在の歴史民俗資料館の活用についてです。

歴史博物館が新しくできるため、歴史民俗資料館としての役目は終了することになります。ただ、この建物は国の重要文化財となっていますので、保存活用するために、平成 30 年度に耐震改修工事を行い、教育のまちなかつの拠点施設となる学習交流施設として整備することにいたしました。

リニューアルオープンは平成 31 年の予定です。

リニューアル後は、慶應義塾大学との連携強化の場として活用するため、大学と協議をしているところです。

以上で、説明を終わります。

#### ○栗田教育次長

続きまして、学校教育課より「学びたい教育のまちづくり」の「学校教育の充実について」の義務教育及び小・中・高・短期大学等の連携について説明いたします。

まず、現状についてですが、授業改善による学力向上を目標の一つに掲げています。

全国学力調査がありました。この調査は、より実生活で使える学力が計られる調査となっています。学校の授業でも子ども同士が対話をして考えを深める対応をして必要となってくるわけですが、限られた授業日数の中で行うため、不安を抱える教員もいます。

そういった事情もあり、授業改善が進みにくい環境ではありますが、授業改善を着実に進めているところです。

具体的には、研究主任を核とする組織的な授業改善を行うなど、チーム学校による組織的な取り組みを進めています。

2つ目は、いじめ・不登校未然防止の強化です。認知件数が12月現在で1,053件あり、多いと思われるかもしれませんが、認知できることが大事であるという考えのもと進めております。

また、スクールソーシャルワーカーを学校教育課内に配置し、虐待など家庭内の課題を解決に向けて働きかけています。

いじめ・不登校未然防止のための具体的な対策として、いじめが起こりにくい学校づくりと起こった時の体制作り強化を進めています。

3つ目は、グローバル人材の育成です。中津におきましても、外国人の方がたくさん入ってこられるようになっていきますし、観光客も沢山来ていますので、コミュニケーションをとる方策として、英語の力をつけていくことを考えております。

具体的な取り組みとして、ジュニアグローバルリーダーとしてグアムでの研修やAPUとの交流を行っており、また、今後の対策としては、参加する児童・生徒・教師の拡大ということが考えられます。

次は幼児教育についてです。

子どもたちが多様化してきている中で、乳幼児教育の重要性があります。その観点から、「中津市乳幼児教育振興プログラム」、通称「あそびのすすめ」を策定しました。遊びを通して総合的・一体的に行われる乳幼児教育が重要であることを認識の基本としています。

官民一体となって、このプログラムの方針に則り取り組んでいくことが大切であり、より連携体制を充実していきたいと考えています。

2つめですが、接続期のカリキュラムの活用推進です。

活用推進の方法として、幼稚園から小学校の方についてはアプローチカリキュラム、小学校側は迎え入れる側としてスタートカリキュラムということを考えています。

このため、幼保小連携協議会や研修の充実を図っていききたいと考えています。

3つ目ですが、幼児の相談件数の増加です。特別な支援を必要とする子どもが増えていることが考えられますが、市の健診時において、そういった子どもを療育訓練に繋げていく体制を整えています。

4つ目は、子育てに不安を抱える保護者についてです。地域とのつながりが希薄化しているケースやマニュアル等に頼る子育てが昔に比べ増えております。

市でも、子ども子育て会議を開催し、生まれたときから成人するまでの期間、関係機関が連携し子育て支援を推進しております。

○今富体育・給食課長

体育・給食課です。スポーツ施設の活用の中のスポーツ合宿等の誘致に特化した形で説明をいたします。

現在、市内のスポーツ施設は全部で28施設あり、現在永添運動公園を整備していますが、これらの施設のPRを進めながら、全部で16施設ある市内宿泊施設を活用していただいて合宿誘致に努めていきたいと考えております。

現状ですが、過去3年は、50件・8,000人弱で推移しています。

また、体育・給食課では施設の貸し出しを行っていますが、観光推進課では大会開催に関する補助金制度もありますので、これらを活用していただいて合宿誘致に努めていきたいと考えております。

課題としては、そういった制度のPR不足やリピーターを確保することが考えられますので、こちらから出向いて積極的にPRしていきたいと考えています。

そして、これからは、宿泊、飲食、観光、医療機関等との連携も強化していかなければならないと考えています。

PR方法については、合宿専用のホームページの立上げや高校・大学への合宿パンフレットを作成し、こちらから積極的に送っていくことなどを検討しています。

○奥塚市長

ただいま事務局より、「なかつ安心・元気・未来プラン2017の推進」についての説明がありました。

2点目の「意見交換」についても一緒に実施していく形になりますが、項目ごとに皆さんのご意見を頂きたいと思います。

最初の項目の「国民文化祭・障害者芸術文化祭の取り組み」についてですが、まず、私からご意見を述べさせていただきます。

国民文化祭・障害者芸術文化祭については、まだ、県民や市民への周知が足りないので強化していきたいと事務局からも説明がありましたが、広める工夫について、お願いをしたいと思います。

また、併せて、日本遺産のPRもお願いしたいと思います。

それでは、委員の皆様、ご意見等ありませんか。

(島田委員挙手)

○島田委員

私も、市長がおっしゃったとおり、国民文化祭・障害者芸術文化祭をもっと広

めていただきたいと思います。

もう一点、アートプロジェクトを含めた全体の進捗状況を知りたいので説明をお願いします。

#### ○事務局

昨年4月に実行委員会が発足して、約1年が経過しています。

なかつ水灯り2018のライトプロジェクトについては、アーティストにお願いをしますが、これまで3回中津に来ていただき、中津の文化や観光資源を見ていただいております。また、中心市街地の街並みも実際に歩いていただいております。そういった中で具体的な提案を頂いている状況です。頂いた案を基に製作に参加していただける市民を募集したいと思っています。

ミュージカルについては、昨年に公開オーディションを行い、配役を決定しております。その後、月1回程度のペースで練習を重ねているところです。4月以降はさらに練習回数を増やし、11月18日の公演日に向けて取り組んでいるところです。

九州人形芝居フェスティバルについては、九州で2年に1回のペースで持ち回りをしているものを今回1年前倒しで開催することになっています。これについても北原人形芝居と協議を重ねています。

百人一首の競技かるたについても、全国に募集をかけ、沢山の参加が見込まれます。

そして、障がい者のアートの方も、プレイベントを行う方向で、障がい者団体や支援学校に社会福祉課からお願いをしているところです。

(足利委員挙手)

#### ○足利委員

海の視点からのイベントも取り入れていただきたいと思います。

また、NPOの情報センターや大学生の活動拠点などいろいろな意味での交流施設として博物館が活発的に使えたらよいと思いますがいかがでしょうか。

#### ○廣畑教育長

中津は海がありますが、国民文化祭は市長が常々市民参加と言われていきますので、これが命題となります。市民参加の場合は何らかの形で関わっていただき、そこに繋げていくのが一つのやり方であると考えます。

それから、もう一つの件について今考えているのが、図書館や博物館、童心会館トータルで複合施設の形で繋げていき、その中で、ボランティアの参加もやっていただきたいと思いますし、それらをいかに連携し位置づけていくかについて考えているところです。

○奥塚市長

それでは、次の項目の「新歴史博物館、現歴史民俗資料館の活用」に関する説明について、ご意見がありましたらお願いいたします。

(新居委員挙手)

○新居委員

新歴史博物館の中に季節ごとの展示物や、情報を映像などで流すことについて考えて欲しいと思いますが、前向きに検討できますか。

○事務局

正面玄関左側に中津祇園の山車を展示するコーナーを設置することを計画していますが、それだけではなく、年間を通じていろいろなものに展示替えをしていくことも考えています。

また、現在の資料館にも季節ごとの映像を流しており、新しい博物館にも流すことを考えております。

○奥塚市長

新しい施設も現在ある施設も同じですが、市民の方が利用してもらうことが一番であるので、そうなるように進めていただきたいです。

(その他委員からの意見なし)

○奥塚市長

それでは、次の項目の「学びたい教育のまちづくり」について、ご意見がありましたらお願いいたします。

(島田委員挙手)

○島田委員

SSW(スクールソーシャルワーカー)の増員理由について説明をお願いします。

○事務局

学校だけでは対応できない問題をスクールソーシャルワーカーが福祉的な専門的見地から一緒に家庭に入っていくことをしていますが、ニーズが増えてきており、それに対応するために増員しております。

(新居委員挙手)

○新居委員

アクティブラーニングの今後の展開について説明をお願いします。

○事務局

今後の方向性についてですが、子どもたちがこれから社会の中で生きていく中で求められている力がそういう力であるので、今後も進めていきたいと考えています。

(足利委員挙手)

○足利委員

中学、高校になると学力だけでなく、社会的な体験や他世代との交流、キャリア教育も必要だと思いますが、教育委員会としての考え方を聞かせてください。

○事務局

教育委員会で作成している学校教育指導指針では、自立する力を育て、社会で活躍できる子どもを育成するとなっています。

まず、主体的に学習に取り組む、そして、学びあっていろいろな考えを取り入れる、そして、人と関わったり、いろいろなことを知りながらそれを深くしていくことをアクティブラーニングとして考えています。

また、キャリア教育については、中学では職業人を呼び、話を聞いたりしているところがあります。

○事務局

食育の授業で生産者の方に入っていただく取り組みをしているところもありますので、第一次産業についても、そういったことから入っていくことも考えられると思います。

○奥塚市長

生き抜く力を身につけることが大切であり、知・徳・体の教育を進めてもらうことが必要であると思います。その為には、体験学習の場を設けることも必要であると思います。

(その他委員からの意見なし)

○奥塚市長

それでは、次の項目の「スポーツ合宿等の誘致」に関する説明についてですが、まず、私からご意見を述べさせていただきます。



スポーツ施設についてですが、造るだけでなく、造った後のほうが大事だと考えます。市民や市外の人たちが沢山使える施設にして欲しいと思います。

それでは、委員の皆様、ご意見がありましたらお願いいたします。

(新居委員挙手)

○新居委員

合宿などの受入れPR対策についての考えを教えてください。

○事務局

「待ち」のPRではなく、「攻め」のPRを行っていきたいと考えています。

合宿誘致については、みなさんの意見を聞きながら更なる取り組みを進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(島田委員挙手)

○島田委員

廃校となった学校を宿泊施設にしている自治体もあるので、今後の検討課題としていただきたいと思います。

(足利委員挙手)

○足利委員

日頃、静かな施設が、にぎやかになると地元の人も明るい気分になるので山移小も検討してもたらどうかと思います。

(その他委員からの意見なし)

○奥塚市長

意見がないようですので、協議・調整事項1点目の「なかつ安心・元気・未来プラン2017の推進」は終了いたします。

それでは、3点目の「その他」ですが、事務局何かございますか。

○事務局

1点ございます。

お手元にお配りしています「中津市小中学校における働き方改革(業務改善)について」説明いたします。

平成30年度から部活動休養日の設定と徹底、お盆期間中における夏季休業日の完全閉庁日の設定、教職員の勤務時間の管理などの取り組みを行います。保

護者の方々の意見等いろいろあると思われませんがよろしくお願いいたします。

○奥塚市長

ありがとうございます。

その他、事務局何かございますか。

○黒永課長

特にございません。

○奥塚市長

委員の皆様からはございませんか。

ないようでしたら、以上で協議・調整事項を終了いたします。ご協力有難うございました。進行を事務局にお返し致します。

○黒永課長

貴重なご意見をいただき、皆様、長時間にわたりありがとうございます。以上をもちまして平成29年度中津市総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でした。

(14:50終了)

市長及び委員等の発言内容については、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上、議事録としています。